

インド共和国 77 周年記念日祝賀行事

マリック駐日インド大使、御臨席の皆様

- ナマスカル(こんにちは)。外務副大臣の堀井巖です。
- 本日は、インド共和国 77 周年記念日祝賀レセプションにお招きいただき、誠にありがとうございます。インド政府及びインド国民の皆様へ、心よりお祝い申し上げます。
- インドは今や世界一の人口を擁し、高い経済成長率を背景に世界経済を牽引する存在です。日本の経済界は成長著しいインドに対して熱い視線を送っています。
- そのような中、昨年8月にモディ首相訪日が実現しました。訪日の成果として、「今後 10 年に向けた日印共同ビジョン」を発表し、経済安全保障を含む安全保障、経済・投資・イノベーション、人的交流の3分野において、両国がそれぞれの強みを生かし合う相互補完的な関係を構築することを確認しました。
- 高市政権下におきましても、首脳間及び外相間で「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた協力を確認するとともに、特に経済安全保障協力、そしてイノベーションを通じた経済成長の実現に重点的に取り組むことで一致しました。
- また、来年・2027 年は日本とインドが国交を樹立して 75 年となる節目の年です。今月、茂木大臣とジャイシャンカル大臣との間で、2027 年を「日印国交樹立 75 周年」とし、日印間の交流を更に深めることで一致しました。
- これらを前へ進めていくためには、日印両国の産官学が一体とな

って取り組むことが重要です。日印協力の更なる発展のため、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

- 最後に、インド国民の皆様の更なる繁栄と日印両国の友好関係の一層の進展を心より祈念し、私の挨拶とさせていただきます。
- ダンニャワード(Dhanyawaad)。ご清聴、誠にありがとうございました。

(了)